

横須賀市告示第 152 号

地方自治法第 243 条の 3 第 1 項及び横須賀市財政事情の公表に関する条例並びに地方公営企業法第 40 条の 2 第 1 項の規定に基づき、本市の財政状況を次のとおり公表します。

平成 23 年 12 月 1 日

横須賀市長 吉田 雄人

# 横 須 賀 市 の 財 政 状 況

# 1. 平成 22 年度決算の状況

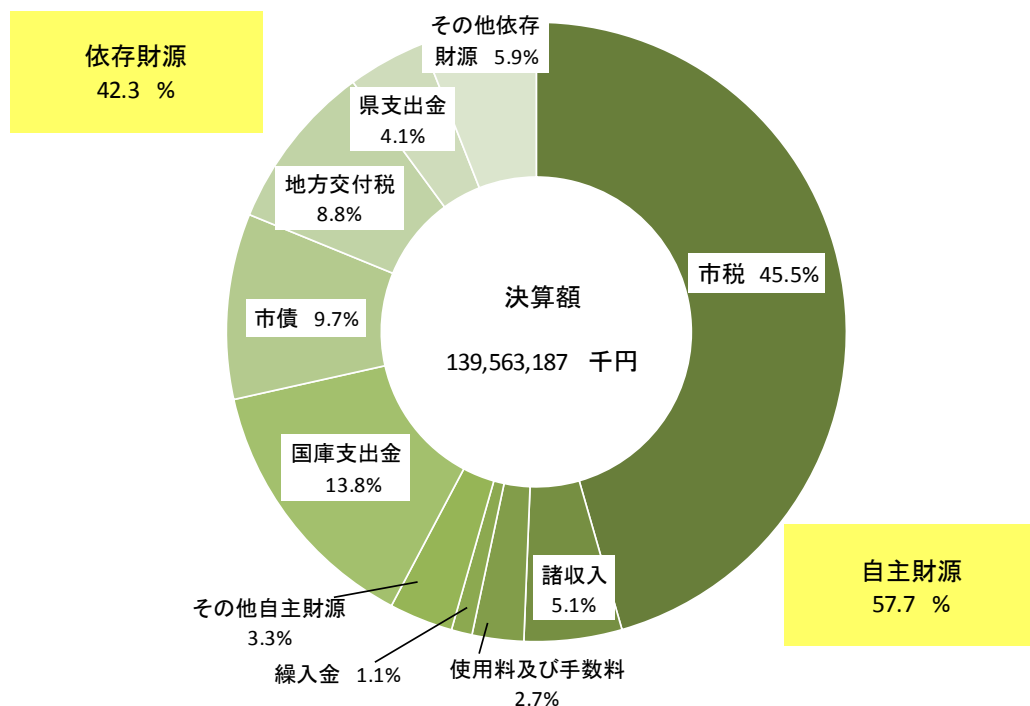
一般会計

〔歳入決算の状況〕

〔単位：千円〕

歳入

区 分	収入額	構成率 (%)
自主財源	80,589,730	57.7
市税	63,559,895	45.5
諸収入	7,119,750	5.1
使用料及び手数料	3,751,425	2.7
繰入金	1,514,178	1.1
その他自主財源	4,644,482	3.3
依存財源	58,973,457	42.3
国庫支出金	19,197,233	13.8
市債	13,510,900	9.7
地方交付税	12,210,255	8.8
県支出金	5,700,836	4.1
その他依存財源	8,354,233	5.9
合 計	139,563,187	100.0



## 自主財源と依存財源

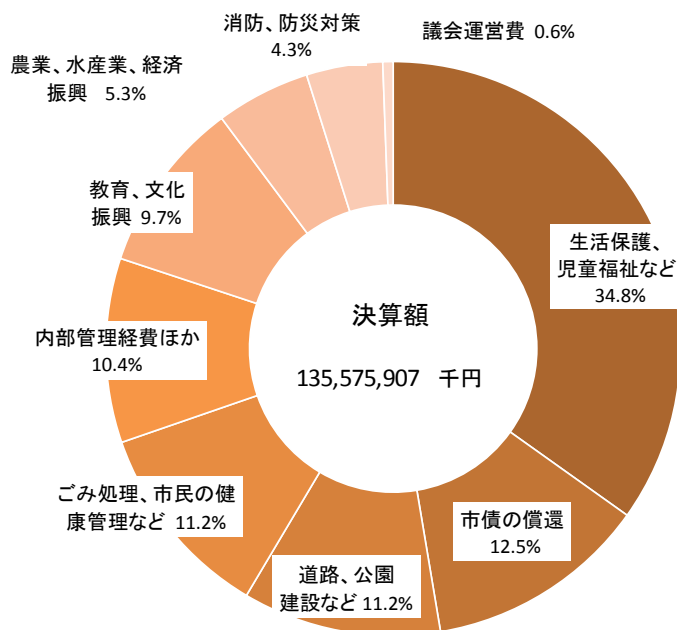
自主財源は、市税のように市が自主的に収入できるものです。これに対し、依存財源は、ある条件を満たした場合に国や県から交付を受けるものです。安定した行政運営のためには全体に占める自主財源の割合が高いことが望まれます。

歳 出

〔歳出決算の状況〕

〔単位：千円〕

区 分	支出額	構成率 (%)
生活保護、児童福祉などの経費	47,255,684	34.8
市債の償還のための経費	16,954,633	12.5
道路、公園建設などの経費	15,148,549	11.2
ごみ処理、市民の健康管理などの経費	15,146,618	11.2
職員給などの内部管理経費ほか	14,075,360	10.4
教育、文化振興のための経費	13,189,612	9.7
農業、水産業、経済振興のための経費	7,199,225	5.3
消防、防災対策のための経費	5,821,112	4.3
議会運営のための経費	785,114	0.6
合 計	135,575,907	100.0



収支状況

(単位 千円)

収入決算額 (A)	支出決算額 (B)	平成 23 年度へ繰り越した事業への充当額 (C)	実質収支 (A - B - C)
139,563,187	135,575,907	486,629	3,500,650

※差引額が実質収支に合致しないのは端数整理により生じたものです。

平成 22 年度一般会計の決算額は、前年度に比べて歳入は約 29 億円、歳出は約 33 億円減少しました。歳入歳出の差引額から翌年度への繰越財源を差し引いた実質収支は、約 35 億円で前年度に比べて約 5 億円の増加となりました。実質収支のうち半分の約 18 億円は後年度の財政運営のため財政調整基金に積み立てました。残りは平成 23 年度予算に組み入れます。

歳入では個人市民税の減少が大きく(約 19 億円)、市税全体では約 16 億円の減少となった一方で、地方交付税が約 22 億円、また、地方交付税の不足分を補う市債(臨時財政対策債)が約 22 億円の増となりました。

歳出では国が実施した定額給付金事業や子育て応援特別手当の終了による減(約 69 億円)がある一方、子ども手当の開始や生活保護費の増加などによる扶助費が大きく増加(約 52 億円)しています。

財政指数  
(決算関連)

〔経常収支比率〕

市税や地方交付税などの経常的な収入に対して、扶助費や公債費などの経常的な経費がどのくらいの割合を占めているのかを表した指標です。この比率が100%に近づくほど、収入の用途がすでに決まっています、政策的に支出する経費が制限されている状態といえます。

本市の経常収支比率は、県内市の中でも高い水準にあります。平成22年度は前年度に比べ若干低下していますが、これは市税の減少を上回り、地方交付税等の依存財源が増加したため、扶助費等の義務的経費は依然増加しています。

平成22年度 決算(A)	平成21年度 決算(B)	増減 (A-B)	県内市平均
95.4%	97.3%	△1.9%	94.5%

〔実質公債費比率〕

一般会計の元利償還金のほか、上下水道事業や病院事業といった公営企業の元利償還金に充てられた繰出金など、実質的には公債費と同じ性質の経費も含めて借金返済の負担の大きさを示します。この比率が18%以上になると、市が借金をするにあたり県知事の許可が必要になります。また25%以上になると、「早期健全化団体」として借金の制限がかかります。

比率は3か年平均で示され、平成22年度決算では前年度と比べ、ほぼ同率となりました。

平成22年度 決算(A)	平成21年度 決算(B)	増減 (A-B)	県内市平均
5.4%	5.2%	0.2%	6.9%

〔将来負担比率〕

市債残高のほか、一部事務組合や土地開発公社等も含めて、一般会計等が今後負担しなくてはならない負債の総額を算出し、将来の財政負担の程度を示します。

この比率が350%以上になると、財政健全化法により「早期健全化団体」と位置づけられ、財政の健全化を図るための計画を議会の議決を経て策定・公表することが義務付けられています。

平成22年度決算は、土地開発公社に依頼して購入した土地の処分や市債残高の減少などにより、平成21年度決算と比べて8.7%改善しました。

平成22年度 決算(A)	平成21年度 決算(B)	増減 (A-B)	県内市平均
65.1%	73.8%	△8.7%	77.7%

(単位 千円)

財政調整  
基金現在高

平成22年度(A)	平成21年度(B)	増減(A-B)
12,619,978	12,008,365	611,613

財政調整基金

地方公共団体の年度間ごとの財源の不均衡を調整し、安定的な財政運営を行うための預貯金です。

市の財政は、経済不況により税収が大幅に落ち込むことや、災害等の予期しない多額の支出が生じる場合があります。このような事態に備えて財政調整基金の積み立てを行っています。

特別会計の  
決算状況

〔特別会計〕

(単位：千円)

会計名	収入決算額(A)	支出決算額(B)	平成23年度へ繰越をした事業への充当分(C)	実質収支(A-B-C)
国民健康保険費	45,550,204	43,291,809	0	2,258,394
公園墓地	296,776	222,748	22,782	51,246
老人保健医療費	17,061	17,061	0	0
介護保険費	25,867,442	25,558,180	0	309,261
母子寡婦福祉資金貸付	181,295	160,987	0	20,307
公債管理費	33,653,013	33,653,013	0	0
後期高齢者医療費	4,501,351	4,423,879	0	77,472

※差引額が実質収支に合致しないのは端数整理により生じたものです。

企業会計の  
決算状況

〔企業会計〕

(単位：千円)

会計名	区分		決算額
	水道事業	収益的	収入
支出			10,885,605
資本的		収入	1,080,969
		支出	4,589,618
下水道事業	収益的	収入	10,961,883
		支出	10,408,183
	資本的	収入	5,846,456
		支出	9,735,272
病院事業	収益的	収入	1,963,875
		支出	1,772,987
	資本的	収入	817,824
		支出	1,177,006

※資本的収支の不足分は、留保資金などで補てんしています。

**収益的収入・支出及び資本的収入・支出とは**

サービス提供にかかる経費とそれに対する料金収入といった、企業の経営活動に伴い生じる経費とそれに対する収益を、収益的収入・支出といいます。

一方、建設整備のための経費やそれにかかる企業債の償還金などの支出と、建設整備の財源となる企業債などの収入を資本的収入・支出といいます。

市債現債額

(単位：千円)

		平成22年度末 現債額	平成21年度末 現債額	増減
一	一般会計	166,970,120	167,376,200	△ 406,080
通 常 債	道路、公園などの建設	42,782,017	45,270,717	△ 2,488,700
	芸術劇場などの公共施設建設	18,425,830	20,020,642	△ 1,594,812
	学校などの建設	15,989,837	16,419,378	△ 429,541
	水道事業への出資	6,075,901	6,458,504	△ 382,603
	ごみ処理施設などの建設	5,530,007	5,613,624	△ 83,617
	その他	17,941,053	16,209,156	1,731,897
	小計	106,744,645	109,992,021	△ 3,247,376
	臨時財政対策債等	60,225,475	57,384,179	2,841,296
特	別会計	879,022	841,392	37,630
	母子寡婦福祉資金貸付	879,022	841,392	37,630
企	業会計	135,164,537	139,668,130	△ 4,503,593
	下水道事業	100,975,143	103,482,603	△ 2,507,460
	水道事業	23,106,448	24,466,579	△ 1,360,131
	病院事業	11,082,946	11,718,948	△ 636,002
	合計	303,013,679	307,885,722	△ 4,872,043

横須賀市の市債 市民1人あたりの現債額 (会計別) 総額 714,957円



一般会計 393,964 円

(一般会計内訳)

臨時財政対策債等	142,101円
道路、公園などの建設	100,944円
芸術劇場など公共施設	43,475円
学校などの建設	37,728円
水道事業への出資	14,336円
ごみ処理施設など	13,048円
その他	42,332円

企業会計 318,919 円

下水道事業 238,250 円

水道事業 54,519 円

病院事業 26,150 円

母子寡婦福祉

特別会計 2,074 円

資金貸付 2,074 円

※人口は平成23年4月1日現在の住民基本台帳人口423,821人を使用しています。

一般会計の市債

市債とは市の借金のことをいい、大きく分けて、通常の建設事業等にかかる「通常債」と、本来、国から交付されるべき現金の振替措置として借り入れる「臨時財政対策債等」があります。

**通常債：**施設整備を行う場合など、一時的に多額の資金を必要とする場合に借り入れる市債で、翌年度以降、借入対象施設の耐用年数に応じて分割して返済していきます。整備された施設は、将来の市民も利用することから、現在の市民だけでなく将来の市民からも応分に税負担をもらい、世代間の負担を公平にするという考え方に基づいています。

**臨時財政対策債等：**「臨時財政対策債」とは、本来、国から自治体へ地方交付税として再分配されるべき現金が、国の財源不足により全額が地方に配分されず、不足する額を一旦、自治体が借り入れて対応しているもので、返済額は地方交付税で補てんされます。

## 2.平成23年度予算執行の状況（平成23年9月30日現在）

### 一般会計

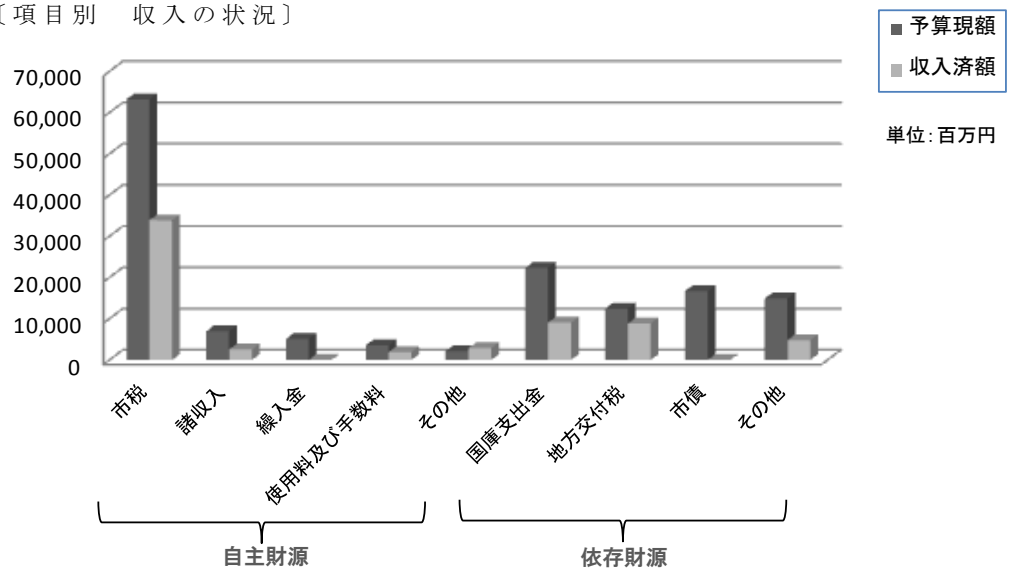
#### 歳入

〔収入の状況〕

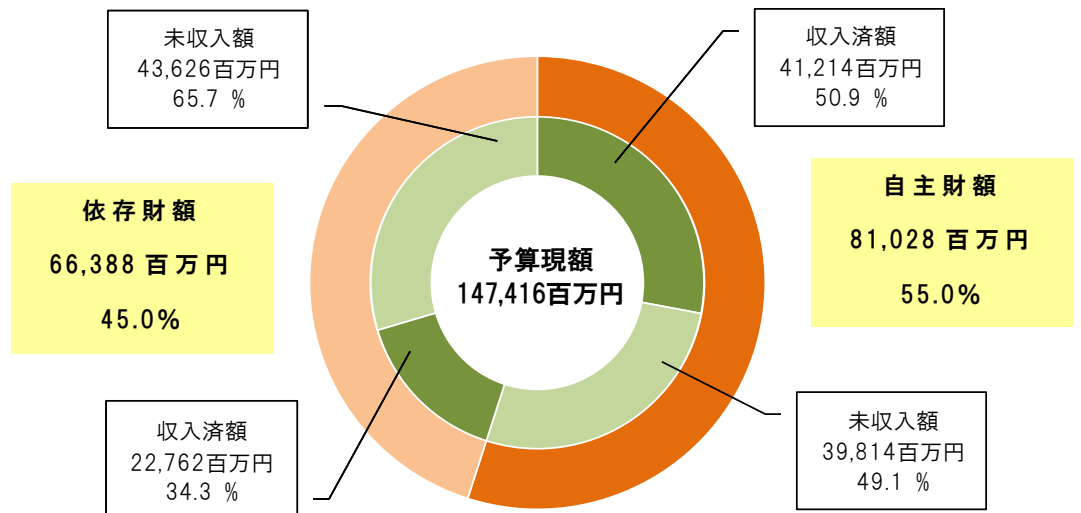
（単位：百万円）

区 分	予算現額	収入済額	執行率（%）
自主財源	81,028	41,214	50.9
市税	63,220	33,872	53.6
諸収入	6,952	2,529	36.4
繰入金	5,120	4	0.1
使用料及び手数料	3,566	1,942	54.5
その他	2,170	2,867	132.1
依存財源	66,388	22,762	34.3
国庫支出金	22,348	9,051	40.5
地方交付税	12,446	8,850	71.1
市債	16,684	50	0.3
その他	14,910	4,811	32.3
合 計	147,416	63,976	43.4

〔項目別 収入の状況〕



〔自主財源・依存財源別の収入の状況〕



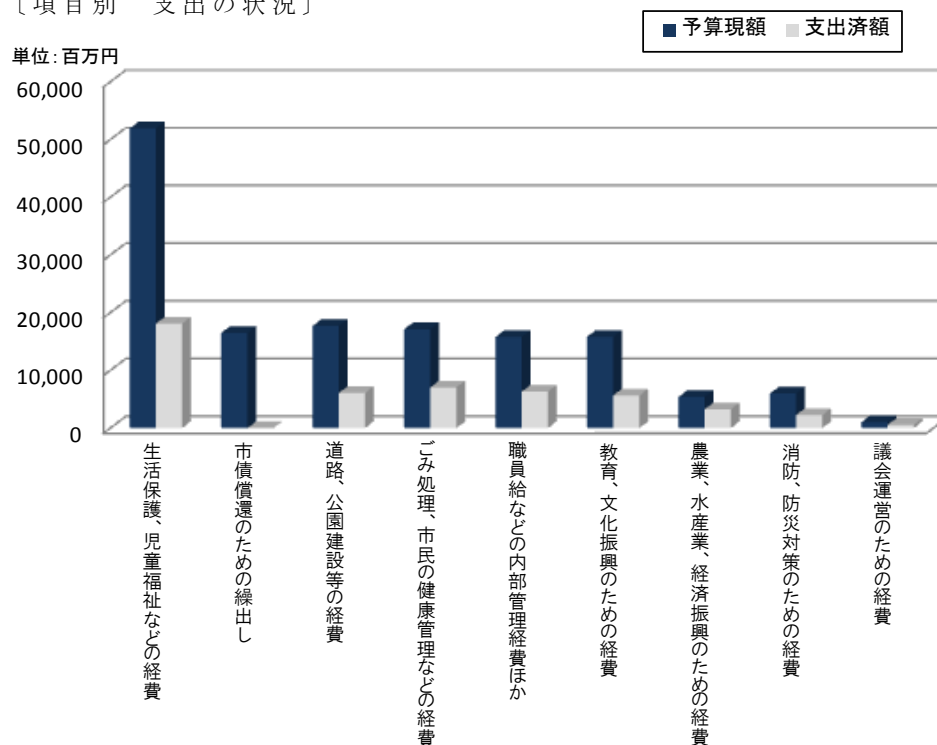
# 歳 出

## 〔支出の状況〕

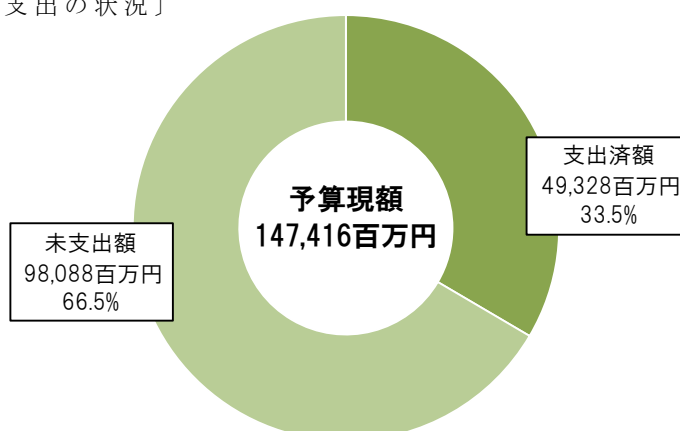
(単位：百万円)

区 分	予算現額	支出済額	執行率 (%)
生活保護、児童福祉などの経費	51,958	18,117	34.9
市債償還のための繰出し	16,506	1	0.0
道路、公園建設等の経費	17,733	6,083	34.3
ごみ処理、市民の健康管理などの経費	17,148	7,054	41.1
職員給などの内部管理経費ほか	15,816	6,329	40.0
教育、文化振興のための経費	15,824	5,660	35.8
農業、水産業、経済振興のための経費	5,408	3,263	60.3
消防、防災対策のための経費	6,001	2,273	37.9
議会運営のための経費	1,022	548	53.6
合 計	147,416	49,328	33.5

## 〔項目別 支出の状況〕



## 〔全体の支出の状況〕



### 予算現額とは

市は毎年度予算を編成したあとで、当初の予算を変更することがありますが、これを予算の補正といいます。補正を行ったあとの予算の額を「予算現額」と呼び、現在の予算額を表しています。

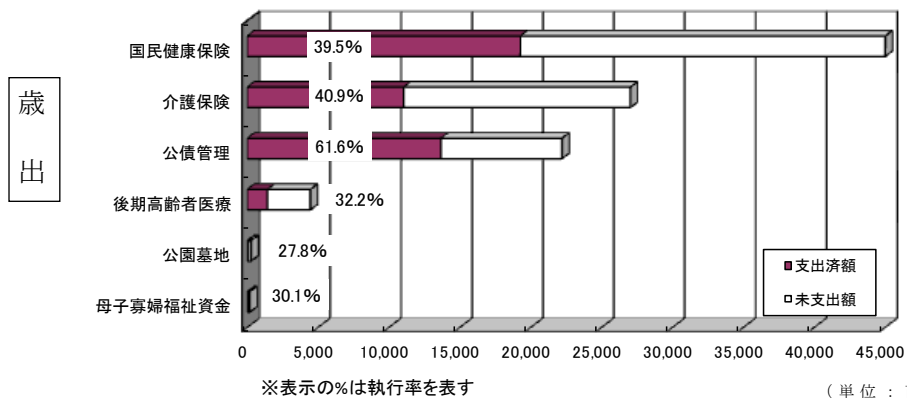
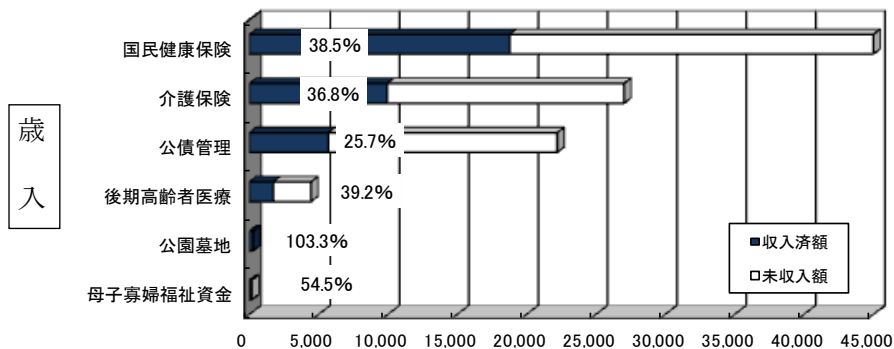


特別会計

〔歳入歳出の状況〕

(単位：百万円)

区 分	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険	48,744	18,789	19,275
公債管理	22,199	5,705	13,673
介護保険	27,022	9,942	11,040
後期高齢者医療	4,447	1,743	1,434
公園墓地	270	279	75
母子寡婦福祉資金	176	96	53
合 計	102,858	36,554	45,550



企業会計

水道事業

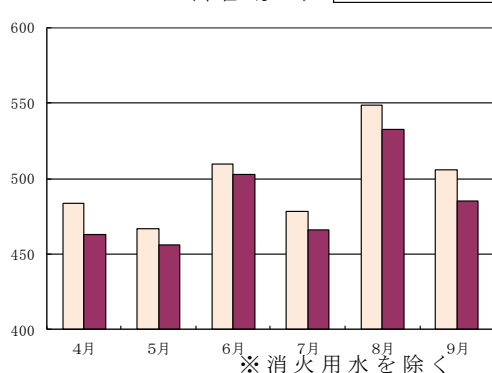
〔経理状況〕

(単位：百万円)

区 分	予算現額	収入・支出済額	執行率 (%)	
収益的	収入	11,156	5,515	49.4
	支出	10,897	2,678	24.6
資本的	収入	2,154	30	1.4
	支出	6,347	1,342	21.1

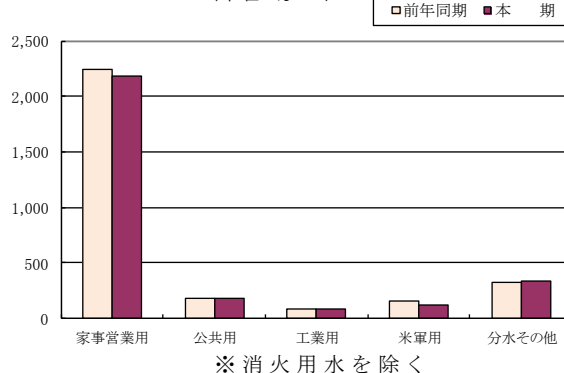
平成 23 年度上半期月別有収水量

(単位：万 m<sup>3</sup>)



平成 23 年度上半期用途別有収水量

(単位：万 m<sup>3</sup>)



下水道事業

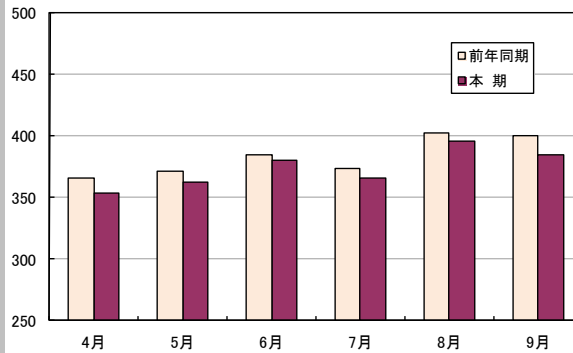
〔経理状況〕

(単位：百万円)

区分		予算現額	収入・支出済額	執行率(%)
収益的	収入	10,697	5,403	50.5
	支出	10,574	2,449	23.2
資本的	収入	9,800	2,684	27.4
	支出	13,800	4,210	30.5

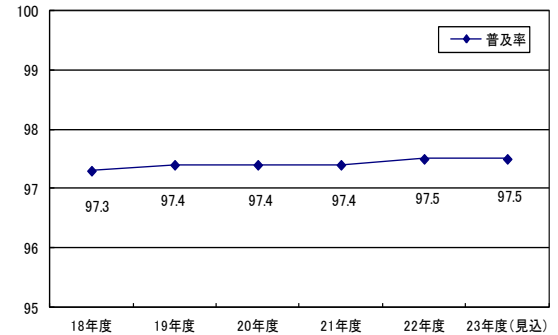
平成23年度上半期月別有収水量

(単位：万m<sup>3</sup>)



下水道人口普及率の推移

(単位：%)



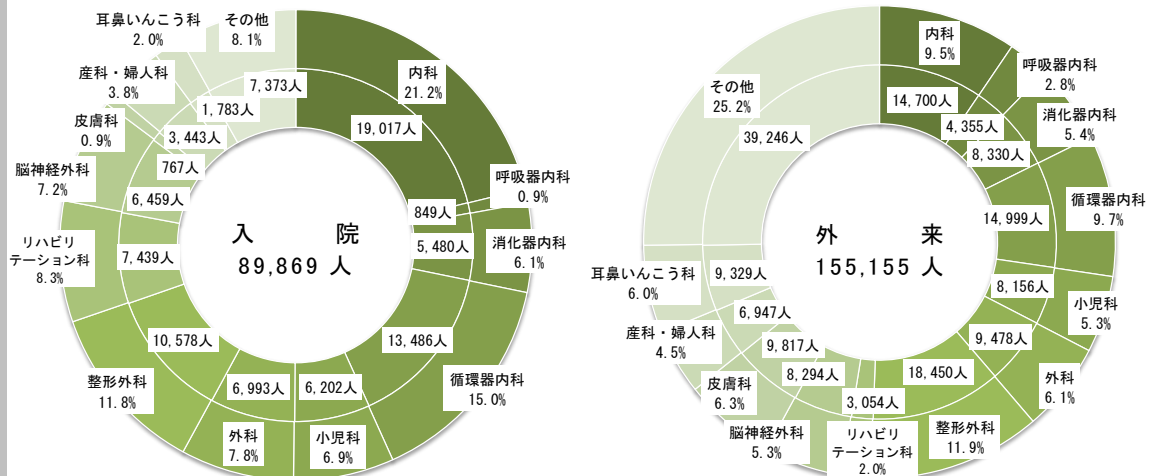
病院事業

〔経理状況〕

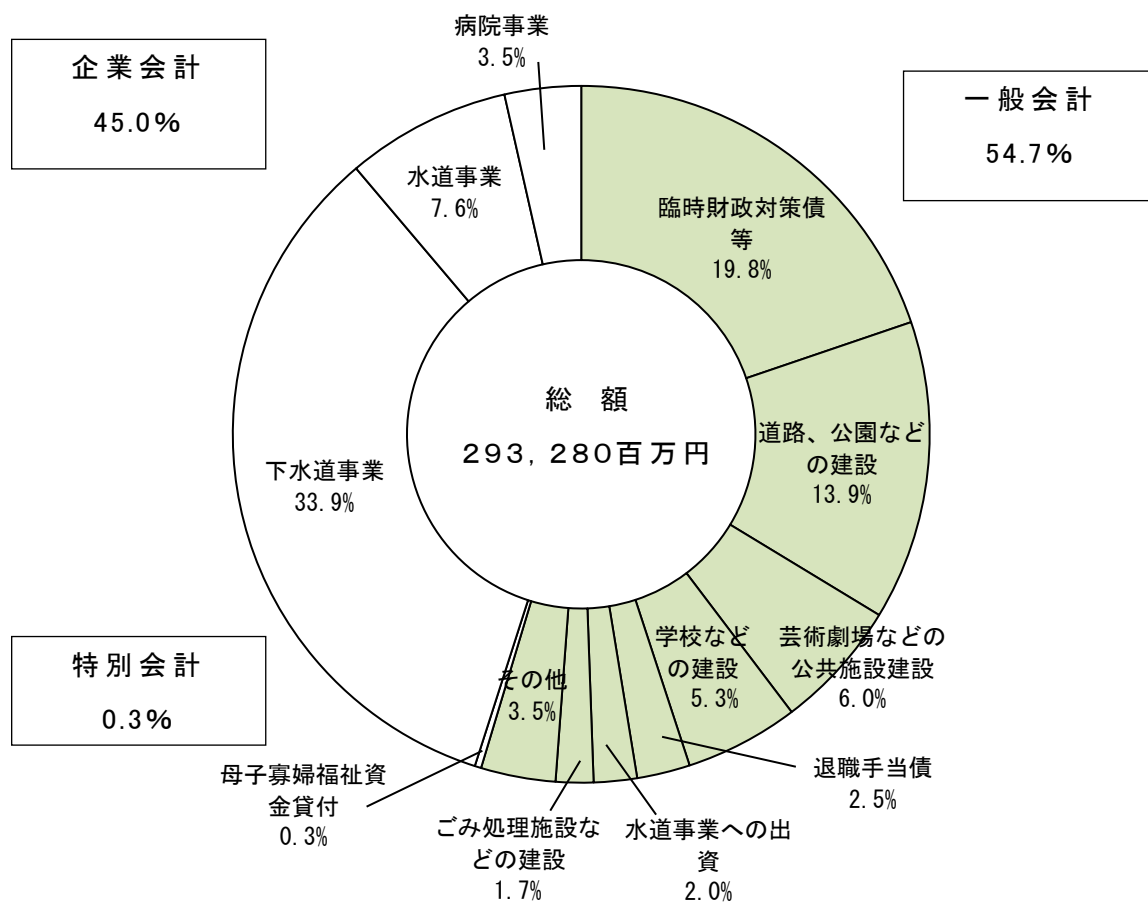
(単位：百万円)

区分		予算現額	収入・支出済額	執行率(%)
収益的	収入	1,527	1,338	87.6
	支出	2,091	462	22.1
資本的	収入	1,286	919	71.5
	支出	1,803	786	43.6

〔平成23年度上半期の患者診療科別割合〕



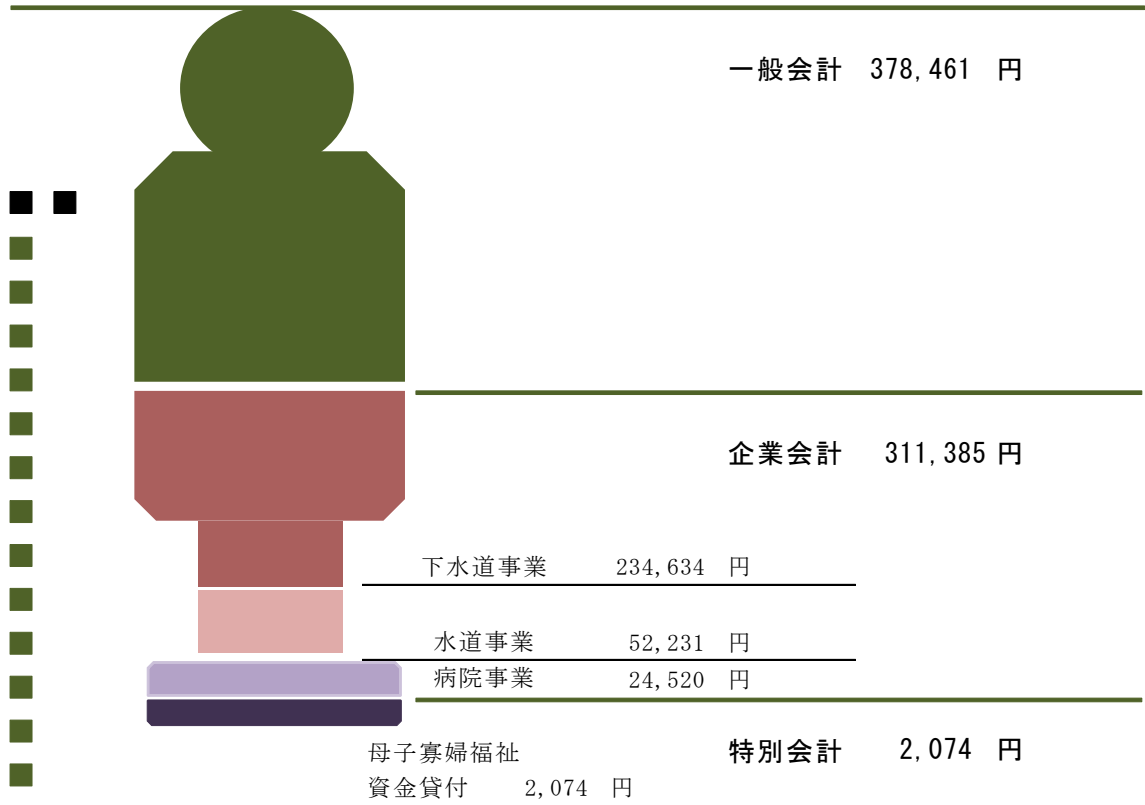
### 3. 市債の現債額（平成 23 年 9 月 30 日現在）



		現 債 額
一	般 会 計	160,416
	通 常 債	102,337
	道 路、公 園 等 の 建 設	40,798
	芸 術 劇 場 等 の 公 共 施 設 建 設	17,615
	学 校 等 の 建 設	15,517
	退 職 手 当 債	7,233
	水 道 事 業 へ の 出 資	5,879
	ご み 処 理 施 設 等 の 建 設	5,125
	そ の 他	10,170
	臨 時 財 政 対 策 債 等	58,079
特	別 会 計	879
	母 子 寡 婦 福 祉 資 金 貸 付	879
企	業 会 計	131,985
	下 水 道 事 業	99,453
	水 道 事 業	22,139
	病 院 事 業	10,393
	合 計	293,280

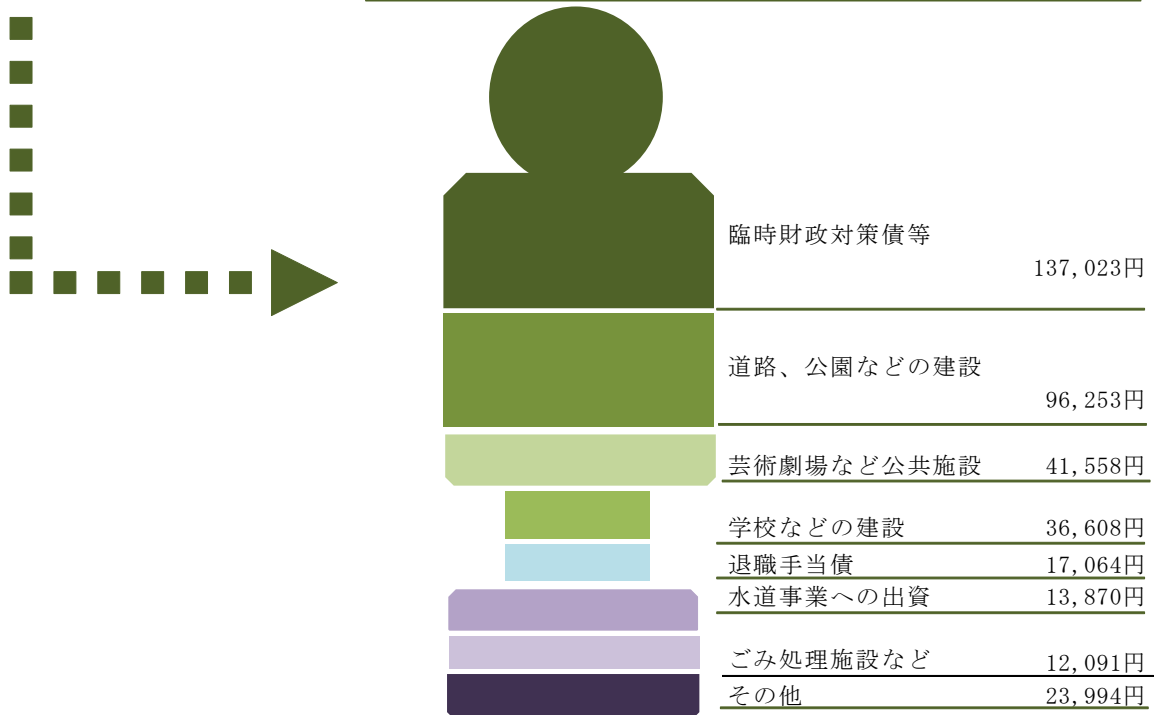
#### 特別会計・企業会計の市債

特別会計・企業会計の市債は、特定の事業のための原資や設備投資を行うために発行するものです。これらの返済には、事業から得られる使用料などの収入が充てられます。



**一般会計の市債現債額の内訳**

一般会計債 市民 1 人あたりの現債額 **総額 378,461円**



※人口は平成23年10月1日現在の住民基本台帳人口423,864人を使用しています。

#### 4. 市有財産の現在高（平成 23 年 9 月 30 日現在）

（一般会計及び特別会計に属するもの）

種 別		現 在 高
公有財産	土 地	7,100,505 m <sup>2</sup>
	建 物	1,253,599 m <sup>2</sup>
	動 産	浮標等 32個
	物 権	地上権 2,270 m <sup>2</sup>
	無 体 財 産 権	商標権 6件
	有 価 証 券	555,891 千円
	出資による権利	3,384,759 千円
債 権	1,017,272 千円	
基 金	28,622,474 千円	

##### 無体財産権とは

特許法、著作権法、商標法などに基づき、発明、考案、創作活動などの無形の財産を独占的に利用できる権利のことで、知的財産権ともいいます。

##### 基金とは

特定の目的のために財産を維持し、資金を積み立て、または定額の資金を運用するために設けられる資金、財産のことで、家計でいう貯金にあたります。

横須賀市には、財源の不足を生じたときの財源に充てることを目的とした財政調整基金や、緑化を推進し、緑を保全するために必要な費用に充てることを目的とした緑地基金などがあります。

#### 5. 一時借入金の現在高（平成 23 年 9 月 30 日現在）

0 円

##### 一時借入金とは

一時借入金とは、地方公共団体が一般会計年度内において支払現金が不足した場合、その不足を補うために借り入れる資金のことをいいます。

収入と支出を予算で計画していますが、実際にお金が入る時期と経費を支払う時期にはずれが生じるため、支払いが多い時期には一時的に資金が足りなくなることがあります。そのようなときには、予算で定めた額を限度として一時的に金融機関から資金を調達することができます。